

Chase a Dream

夢に向かって羽ばたけ 36



短期交換留学の経験を活かし 平戸の魅力伝えたい

宮 浦の先に浮かぶ高島には5世帯の家族が暮らしています。島内に子どもはわずか4人で、毎朝7時に出るスクールボートに乗り学校へ通っています。その中の1人が、今回紹介する平戸高校1年生の

松永海喜さんです。松永さんは、姉妹都市オランダ王国ノールトワイク市との短期交換留学に「平戸の魅力を外国人に伝えることができるようになりたい」という思いがあり参加を決めました。

この事業では、ホームステイをしながらその国の高校に通います。そのため、オランダの高校生を自宅に2週間受け入れることが前提となります。松永さんは「この交流に参加したいという思いが膨らむ一方で、離島である高島での受け入れに不安がありました。しかし、家族の理解がありチャレンジすることができました」と振り返ります。実際には「高島での自然豊かな生活や、船での通学はオランダ人にとっても特別な環境であり、新鮮な驚きであることがわかりました」と話します。

この交流をとおして「オランダの文化に触れ、日本の文化との違いに新たな発見が多くありました。交流が終わってからも連絡を取り合う、大切な友達ができ、参加してよかったと思います」と笑みを浮かべます。

そして最後に「将来は地元で就職したいと思っていますので、今回の経験を活かし、平戸の魅力を伝えたいと思います」と語ってくれました。

応援団からの一言
『短期交換留学が財産に』 母・真友子さん

今回のオランダ交流事業への参加は、私の希望でもありました。若いうちに海外の文化に触れることがどんなに貴重で、得るものが大きいか体感してほしかったからです。この事業に参加したことが、本人も家族も財産になったと思っています。これからも世界に出て通用するような人になってほしいと思います。



平戸高校1年 松永 海喜さん
野子町
3人兄弟の長男。高校ではサッカー部に所属。オランダでの自転車移動に備え猛特訓したそうです。

キレイな海の記憶を子どもたちに残したい

問 人事課秘書広報班 ☎22-9120



2月2日、生月西海岸一帯で、海岸清掃が行われました。

この海岸清掃は、主催者の平戸たつのおとしご隊代表の香林亮積さんが、キレイな海の記憶を子どもたちに残していきたいという思いで平成19年から始めた海岸清掃に、地域のNPO団体やまちづくり運営協議会が協力して行われました。今回は、約50人が参加し、大きなゴミや発泡スチロールなどの海洋ゴミなどを回収しました。

3月8日には、早福地区の清水海岸で菜の花まつりと連携して、クリーンアップウォーキングも予定しています。

人口の動き		()は、前月との比較 令和2年2月1日現在	
■総人口	30,847人(-54人)	■平戸地区	17,765人(-36人)
■男性	14,579人(-17人)	北部地区	10,455人(-13人)
■女性	16,268人(-37人)	中部地区	3,480人(-17人)
■世帯数	13,975戸(-26戸)	南部地区	3,830人(-6人)
問 市民課戸籍住民班 ☎22-9123		■生月地区	5,319人(-11人)
		■田平地区	6,736人(-5人)
		■大島地区	1,027人(-2人)

P 2	目次・キレイな海の記憶を子どもたちに残したい・人口の動き・交通事故件数・火災救急件数
P 3	夢に向かって羽ばたけ
P 4~11	特集 イクボスのすすめ
P 12~13	平戸市表彰式
P 14~15	令和2年子泣き相撲
P 16	そうだ図書館へ行こう
P 17	今月のレシピ・「古写真」から見る平戸の記憶遺産
P 18	高齢者の通いの場訪問
P 19	市民総合相談室・国際交流員の日記
P 20~21	子育て・健康応援コーナー
P 22~26	見逃せない情報がココに(お知らせ)
P 27	暮らしに役立つ情報がここにも(お知らせ)
P 28~29	まちのできごと
P 30	うぶ声&おくやみ・TownTopic
P 31	ハッピーバースデー
P 32	カレンダー

交通事故件数		火災救急件数	
令和2年1月末現在		令和2年1月末現在	
■件数	4件(5件)	■火災	0件(7件)
■死者	0人(0人)	■救急	149件(168件)
■負傷者	4人(5人)		
※()内は昨年同期		※()内は昨年同期	
問 総務課危機管理班 ☎22-9101		問 消防本部予防課 ☎22-3167	